

科目区分	専門教育科目	科目名	人間の尊厳と自立		科目コード	17F320	担当者	荒木 正平			
対象学生	介護福祉士コース2年生	学期区分	後期	単位数	2	卒業要件	必修				
						免許・資格要件	介護福祉士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
<p>老いや障害、病などによって生活上の困難を抱えている人々への支援の基盤となる、「人間の尊厳の自立」の考え方を学ぶ。さらに、その考え方を介護場面において実践していくための基礎を学習する。</p>						1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・表現・判断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	人間の尊厳を理解することの意義を学ぶ。					◎	◎	○	◎	○	○
2.	人権思想の歴史を理解する。					◎	◎	○	◎	○	○
3.	介護場面における権利擁護や尊厳の保持について学ぶ。					◎	◎	○	◎	○	○
4.						◎	◎	○	◎	○	○
5.						◎	◎	○	◎	○	○
授業方法						成績評価の方法と割合					
教科書を中心に、参考資料やDVDなども適宜使用しながら授業を進める。						定期試験（50%） 提出物（35%） 受講態度（15%）					
準備学修						課題等への対応					
予習として、教科書を授業までに読んでおくこと（30～40分程度）。復習には、配布資料やレジュメ・ミニテストなどを活用し、理解を深めるように努める。						理解の状況について適宜ミニテスト等で確認し、必要に応じて個別指導を行う。					
授業計画											
第1回	人間の尊厳と自立の意義Ⅰ 人間の尊厳の意義、自立の意義										
第2回	人間の尊厳と自立の意義Ⅱ 自立と自律、人間の尊厳と自立										
第3回	尊厳と自立をめぐる歴史としくみⅠ 人権、尊厳と自立の思想										
第4回	体験授業										
第5回	尊厳と自立をめぐる歴史としくみⅡ 人権、尊厳と自立をめぐる歴史的経緯										
第6回	尊厳と自立をめぐる歴史としくみⅢ 人々が求める生活の幸せ										
第7回	尊厳と自立をめぐる歴史としくみⅣ 福祉関係各法にみられる「人間の尊厳と自立」の概念										
第8回	人間の尊厳・自立と生活Ⅰ 生活を通して考える人間の尊厳と自立①										
第9回	人間の尊厳・自立と生活Ⅱ 生活を通して考える人間の尊厳と自立②										
第10回	人間の尊厳・自立と生活Ⅲ 生活を通して考える人間の尊厳と自立③										
第11回	介護における尊厳の保持と自立支援Ⅰ 介護における権利擁護と人権尊重										
第12回	介護における尊厳の保持と自立支援Ⅱ 介護における自立支援										
第13回	介護における尊厳の保持と自立支援Ⅲ 介護における尊厳保持の実践①										
第14回	介護における尊厳の保持と自立支援Ⅳ 介護における尊厳保持の実践②										
第15回	介護における尊厳の保持と自立支援Ⅴ 介護における自立支援の実践										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
新・介護福祉士養成テキスト「人間の理解」中央法規出版						ここでは、介護実践場面を含むあらゆる対人支援場面に求められる基礎的な考え方について学習します。支援の対象となる人々の側に「寄り添う」ということの真の意味について考えましょう。					